

ちからとかたちを考える < 架構学 > 講座 のご案内

特定非営利活動法人 伝統木構造の会

架構とは、構（柱）と架（梁）で構成される骨組みのことです。架構学とは、耐力機能を持つ架構の形態を対象とした学問です。素材の性能を知り、ちからとかたちの関係がわかり、材の仕口や継手のメカニズムと加工・組立の工法を学ぶことが主な内容をなしています。すなわち、4つの分野の総合です。

架構学 = 素材+形態+機構+工法

意匠を志す人も、構造をめざす人にも共通して必要なだけでなく、ものづくり全般にも、一般市民にも常識として普及したい内容です。これまで、完全には確立されていませんが、本講座で完成させます。

架構全体をいくつかのユニットの結合体と考えると、ユニットの性質を明らかにすることで全体をユニットの集まりとして把握することができるのです。ユニットの種類はさほど多くはありません。抵抗のしくみ毎に分けて各々をデータ化しておく、その組合せによって架構の計画ができるようになります。

設計者だけでなく、大工・職人、山元、市民の参加も歓迎いたします。

日程：9月29日（土）初講、以降は毎月第2、第4土曜日の開講 時間は午後2：00～5：00

内容： 軸力系、 曲げ系、 剪断系、 曲げ・軸力系、 曲げ・剪断系、 軸力・剪断系の6系統について各講で解説。全96パターンの架構についての連続講座になります。
期間は および と でそれぞれ1年間、全体で2年間の予定です。

第1講	架構計画の手順	第7講	力を閉じる工夫	第13講	板に近い骨組み
第2講	構を起こす工夫	第8講	美と極小応力	第14講	小部材で組む
第3講	架けわたす工夫	第9講	2次元から3次元へ	第15講	応力外皮構造
第4講	最小架構の工夫	第10講	架構の立体化	第16講	合成架構の例
第5講	連力線図の応用	第11講	合成骨組みの工夫	第17講	光を通す文様壁
第6講	応力最小の工夫	第12講	骨組みから板へ	第18講	自由に創造する力

会場： 浜松町駅前 社務所 兼 芝浜4丁目町会会館

講師： 増田一眞（増田建築構造事務所・伝統木構造の会会長）

募集人数： 30名程度（会員限定）

参加費：（半年12回分括） 会員 24,000円（一括96,000円）
学生 12,000円（一括48,000円）

申込み方法：下添の申込用紙にご記入の上、
FAX 03-3375-8447
まで、お申し込み下さい。

お問い合わせ：特定非営利活動法人 伝統木構造の会事務局
東京都渋谷区代々木2-36-6
TEL：03-3370-8528 FAX：03-3375-8447



申 込 用 紙

氏名：		会員・学生
住所：	〒	電話番号：
メールアドレス：		FAX 番号：
< 架構学 > 講座（48回連続）に申し込みます。 （会員 96,000- 学生 48,000-）半年ごとの分割払い可能です。		

参加費は、申込と同時に郵便局でお振り込みください。
郵便振替口座 00170-7-722838 伝統木構造の会

振込金額 _____ 円
振込(予定)日 _____ 月 _____ 日